

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 早川達也 (救急科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2026年3月31日

目的：暑熱環境による熱中症に関して、夏季になると多数報道されますが、本邦における熱中症、特に重症の場合の実態は、十分に解明されていないのが現状です。本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行います。

方法：2017年から2025年までの毎年7月1日から9月30日までに帝京大学医学部附属病院高度救命救急センターおよび日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設において、熱中症と診断された全ての患者さんが対象となります。なお、外来診療のみで帰宅となった患者さんは除外します。各医療機関の診療録の中において、年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および転帰に関する情報を匿名化して、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会にWeb登録を行います。その後、集計・解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行います。

■ 対象となる患者さん

2017年から2025年の毎年7月1日から9月30日までに熱中症と診断された全ての入院患者

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：患者情報（登録時年齢、性別、既往歴）、搬送情報（発症日時等）、現場情報（発生場所、発生状況）、生活歴（生活様式、自立度）、現場患者情報（意識レベル、血圧、脈拍数、呼吸数、SpO₂、体温、症状）、来院時身体所見、来院時採血結果、2日目身体所見、2日目採血検査結果、入院／治療内容、転帰、重症度評価等

■ 外部への試料・情報の提供

日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会へのデータ提供（Web登録）につい

ては無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力されません。また、対応表も作成しません。

■ 研究組織

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会、日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設

[問い合わせ先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
救急科 担当 医師早川達也 事務局山口
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971